

『農業ビッグデータとプラットフォーム学』

～高効率な営農実現へ農業ビッグデータの整備・共有が果たす役割とは～
 農業がより生産性の高いビジネスとして成立するために
 ICTに、プラットフォームに何が求められるのか？



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第16回となる今回は、SDGsの目標2で掲げられている「持続可能な食料生産の仕組みづくり」に対するアプローチとしても重要視されている農業ビッグデータの活用がテーマ。次世代農業を牽引する企業担当者らが集い、高効率な農業経営のためのスマート農業の現在と未来、そして旧来的な農業から消費者へ高い付加価値を提供できる農業：FaaS (Farming as a Service) への変革を進めるにあたっての課題解決について議論します。

イベント概要

- 開催：2022年12月21日（水）
- 時間：16:45～18:45（履修生は19:15終了予定）
- 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー（Zoomウェビナー形式※）

※セミナーご参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要があります。



お申し込みはこちら
 （12月20日12時締切）

登壇者

飯田聡氏 株式会社クボタ 特別技術顧問

榎淳哉氏 NECソリューションイノベータ株式会社 イノベーション推進本部・主席プロフェッショナル

原田博司教授 京都大学プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター



KUSP

Kyoto University School of Platforms

京都大学
 プラットフォーム学卓越大学院